



Dragon Boat Festival：授業アイデア（簡単版）

端午節（ドラゴンボート祭り）をテーマにした英語の授業アイデア 5本

Class _____ No. _____ Name _____

1. 教室ドラゴンボート：リズムでこげ！

小学校・15分

🌀 数字と動作の英語（Paddle! Left! Right! Stop!）を、体を動かしながら覚える。

1. 机を舟の形に並べ、1チーム8～10人で座る。
2. 先頭の太鼓役が One, two! Paddle! と英語でリズムを出す。
3. 全員で腕をこぐ動きをそろえ、太鼓役は Faster! / Slower! / Stop! と指示する。
4. 最後に、こぎ手20人・太鼓1人・かじ取り1人の本物の舟の話をする。

2. 日本と中国の5月5日をくらべよう

中学・25分

🌀 比較の表現（both, but, different from）を使って、2つの行事を英語で説明できるようになる。

1. ちまき・菖蒲・こいのぼり・ドラゴンボートの写真を見せ、日本と中国どちらのものか予想する。
2. ベン図に Japan only / China only / Both を英語で書きこむ。
3. Both Japan and China _____. / In China, ____, but in Japan, _____. の文を3つ作る。
4. ペアで発表し、日本の端午の節句を英語で外国人に説明する練習をする。

3. 屈原の物語を4コマで英語にしよう

中学・30分

🌀 過去形を使って、物語の流れを順序よく英語で表現できるようになる。

1. 本文の第1～2段落を読み、出来事を4つに分ける。
2. 4コマの絵を描き、各コマに過去形の英文を1～2文つける。
3. First, / Then, / After that, / Finally, のつなぎ言葉を入れる。
4. グループで読み合い、「伝説」と「事実」のちがいについて一言ずつ意見を言う。

4. ちまき論争ディベート：甘い派 vs しょっぱい派

高校・30分

🌀 身近なテーマで、理由と例をあげて英語で意見を述べる練習をする。

1. 北と南のちまきのちがいを英語で確認する。
2. 甘い派・しょっぱい派に分かれ、理由を英語で3つ考える（taste, health, tradition など）。
3. 1分ずつ主張し、相手チームに1つ質問する。
4. 最後に日本の柏餅・ちまきの地域差（関東・関西）も紹介し、食文化の地域差を考える。

5. 文化はだれのもの？端午をめぐるリサーチ

大学・60分

🌀 advanced の英文をもとに、無形文化遺産と文化の所有について調べ、論じる。

1. advanced（Whose Festival Is It?）を読み、2005年と2009年の出来事を整理する。
2. 中国・韓国・日本・ベトナムの端午の習慣を、英語の資料で分担して調べる。
3. 「同じ起源の行事は誰のものか」について、グループで立場を決めて議論する。
4. 自分の意見を英語150語程度のエッセイにまとめる。



1. 教室ドラゴンボート：リズムでこげ！

授業手順書（詳細版）／対象：小学校／15分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

One, two! Paddle! Left! Right! Faster! Slower! Stop! などの数字と動作の英語を、聞いて体を動かしながら覚える。

準備

- 机やイスを舟の形に2列に並べる（1チーム8～10人）。机を動かせない場合は床にテープで舟の形をかく
- 太鼓（なければタンバリンや机をたたく）を1チーム1つ
- ドラゴンボートレースの写真または短い動画
- 指示カード：Paddle! / Left! / Right! / Faster! / Slower! / Stop!

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	3	ドラゴンボートの写真や動画を見せ、竜の頭の舟をみんなで息を合わせてこぐ祭りが中国にあることを紹介する。指示カードの英語を動作つきでリピートさせる。	写真を見て、先生のあとに指示の英語を言いながら動作をまねる。	“Look! It's a dragon boat.” “Many people paddle together.” “Paddle! Like this.” “Faster! Slower! Stop!”
展開1	4	全員を席に座らせ、先生が指示を出して腕でこぐ動きをさせる。Left! Right! で片方ずつこぐなど、聞き分けが必要な指示を混ぜる。	指示を聞き分けて、こぐ動きをする。	“One, two! Paddle!” “Left! Left! Right!” “Faster! Faster!” “Stop!”
展開2	6	チームの舟に座らせ、先頭の太鼓役が英語でリズムと指示を出す。太鼓役を交代しながら、全員の動きがそろったチームをほめる。	太鼓役は英語で指示を出し、こぎ手は動きをそろえる。役を交代する。	“You are the drummer. Say One, two! Paddle!” “Everyone, move together.” “Your team is perfect!” “Change drummers.”
まとめ	2	本物の舟には、こぎ手20人・太鼓1人・かじ取り1人の22人が乗ることを紹介する。全員の動きがそろわないと速く進めないことを伝える。	本物の舟の人数を聞き、英語で数を言う。	“A real dragon boat has twenty paddlers.” “One person beats the drum, and one person steers.” “How many people in all? Twenty-two!” “Teamwork is everything.”

板書例

Dragon boat
One, two! Paddle!
Left! / Right!
Faster! / Slower!
Stop!

20 paddlers + 1 drummer + 1 steerer = 22

評価のポイント

- 指示の英語を聞いて、正しく体を動かしているか。
- 太鼓役のとき、英語で指示を出しているか。

つまづきへの手だて

- 聞き分けがむずかしい児童のために、指示カードを黒板に貼り、先生が指さしながら言う。
- 太鼓役が苦手な児童は、One, two! だけを言う役にする。

発展

- アクティビティ集 B4 のカードで、こぎ手・太鼓・かじ取りの役割を英語で言う練習をする。
- 日本にも長崎のペーロンや沖縄のハーリーという舟のレースがあることを紹介する。

使う教材

- アクティビティ集 B4（カード）
- このサイトの英語ページの音声



2. 日本と中国の5月5日にくらべよう

授業手順書（詳細版）／対象：中学／25分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

both / but / different from を使って、中国の端午節と日本の端午の節句（こどもの日）を英語でくらべて説明できる。

準備

- 写真4枚：ちまき、菖蒲（菖蒲湯）、こいのぼり、ドラゴンボート
- ペン図のワークシート（Japan only / China only / Both）
- 日付のメモ：中国は旧暦の5月5日（2026年は6月19日、2027年は6月9日）、日本は新暦の5月5日
- アクティビティ集 B5（国くらべ）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	5	4枚の写真を見せ、日本と中国のどちらのものか予想させる。日本の端午の節句は、中国の端午節が伝わったものと明かす。	写真を見て、Japan / China / Both を予想する。	“Look at these four pictures.” “Is it from Japan or China?” “What about chimaki?” “Japan's May 5 came from China long ago.”
展開1	7	ペン図に英語で書きこませる。ちまきと強い香りの草（菖蒲）は両方、こいのぼりは日本、ドラゴンボートレースは中国（ただし長崎のペーロンのように日本にもある）。中国は旧暦なので毎年日付が変わることも書かせる。	ペアでペン図に単語や短い句を書く。	“Write the things in the circles.” “People in both countries eat chimaki, or zongzi.” “Carp streamers are only in Japan.” “Dragon boats? Mostly in China, but Nagasaki has Peiron!”
展開2	8	Both Japan and China _____. / In China, _____, but in Japan, _____. の型で3文作らせる。日付の文（In China, the date changes every year, but in Japan, it is always May 5.）も入れさせる。	ペン図をもとに、くらべる英文を3つ書く。	“Make three sentences.” “Both Japan and China have chimaki.” “In China, people race dragon boats, but in Japan, we fly carp streamers.” “Write about the date, too.”
まとめ	5	ペアで発表し合ったあと、日本の端午の節句を外国人に英語で説明する練習をさせる。こいのぼりの鯉は、滝をのぼると竜になるという中国の伝説から来ていて、5月5日は日本にも竜がいる、という本文の最後の一文を紹介する。	ペアで日本の端午の節句を英語で説明し合う。	“Explain Children's Day to a friend from another country.” “In an old Chinese story, a carp swims up a waterfall and becomes a dragon.” “So there are dragons in Japan on May 5, too!” “Try it with your partner.”

板書例

Dragon Boat Festival (China) vs Tango no Sekku (Japan)
Both : chimaki (zongzi) / strong-smelling plants (shobu)
China : dragon boat races / lunar calendar → 2026 : June 19
Japan : carp streamers / always May 5

Both Japan and China _____.
In China, _____, but in Japan, _____.
🐡 carp → waterfall → 🐉

評価のポイント

- both / but を使って、2つの行事の共通点とちがいを正しく書けているか。
- 日本の端午の節句を、外国の人にわかる英語で説明できているか。

つまづきへの手だて

- 単語が出ない生徒には、写真に英語のラベル（chimaki, carp streamer, dragon boat, shobu bath）をつけて配る。
- 文を作るのがむずかしい生徒には、型の空所に単語を入れるだけのプリントを渡す。

発展

- アクティビティ集 B5 の国くらべで、韓国の端午（タノ）やベトナムの端午も調べさせる。
- 基本セット p.7 の作文 On the Dragon Boat Festival, people _____. In Japan on May 5, we _____. を書かせる。

使う教材

- アクティビティ集 B5（国くらべ）
- 基本セット p.7（作文）
- このサイトの英語ページの音声



3. 屈原の物語を4コマで英語にしよう

授業手順書（詳細版）／対象：中学／30分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

過去形と First, / Then, / After that, / Finally, を使って、屈原の物語を順序よく英語で表現できる。

準備

- 本文（english.paragraphs）の第1～2段落のプリント
- 4コマの枠を印刷したワークシート
- 過去形の表（stand → stood、send → sent、take → took、jump → jumped、row → rowed、throw → threw）
- 基本セット p.6（並べかえ）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	5	本文の第1～2段落を音声で聞かせ、2000年以上前の詩人・屈原の話だと確認する。屈原は実在の詩人で、2020年に打ち上げられた中国の火星探査機「天問1号」の名前も彼の詩から取られたと紹介する。	音声を聞き、登場人物と場所を答える。	“This is a story from more than 2,000 years ago.” “Who is the main character? A poet named Qu Yuan.” “Where is the story? By a river in southern China.” “China's Mars mission was named after one of his poems!”
展開1	7	第1～2段落を読ませ、出来事を4つに分けさせる。①王に追い出された ②敵が都をとり、川に身を投げた ③人々が舟をこぎ、太鼓で魚を追い払った ④魚が米を食べるように川に米を投げた。	本文を読み、出来事を4つに分けて番号をつける。	“Read paragraphs one and two.” “Find four events.” “What happened first?” “The king sent him away.”
展開2	12	4コマの絵をかかせ、各コマに過去形の英文を1～2文つけさせる。First, / Then, / After that, / Finally, を文の頭に入れさせる。机間指導で過去形の形を確認する。	4コマの絵をかき、つなぎ言葉と過去形を使って英文を書く。	“Draw four pictures.” “Write one or two sentences under each picture.” “Start with First, Then, After that, and Finally.” “Check the past tense. Row, rowed. Throw, threw.”
まとめ	6	グループで4コマを読み合わせる。本文に This is how many people explain the start ... とあることに注目させ、屈原は実在の人物だが、舟で探した話は「伝説」として伝わっていることを確認する。伝説と事実のちがいで一言ずつ意見を言わせる。	4コマを読み合い、伝説と事実のちがいについて意見を言う。	“Read your story to your group.” “Look at this sentence: This is how many people explain the start.” “Is it a fact or a legend?” “Qu Yuan was real. The boat story is a legend.”

板書例

Qu Yuan (a poet, more than 2,000 years ago)
 First, the king sent him away.
 Then, an enemy army took the capital, and he jumped into the river.
 After that, people rowed boats and beat drums.
 Finally, they threw rice into the water.

stand → stood / send → sent / take → took / row → rowed /
 throw → threw
 fact (事実) vs legend (伝説)

評価のポイント

- 4つの出来事を正しい順番で、過去形を使って書いているか。
- つなぎ言葉を使って、話の流れがわかる英文にできているか。

つまづきへの手だて

- 英文が書けない生徒には、本文の文を写して、つなぎ言葉だけ自分で加えさせる。
- 絵が苦手な生徒には、棒人間や簡単な記号でよいと伝える。

発展

- 基本セット p.6 の並べかえで、物語の文を順番に並べさせる。
- 日本の昔話を1つ選び、同じように4コマの英語にさせる。

使う教材

- 本文（english.paragraphs）
- 基本セット p.6（並べかえ）
- このサイトの英語ページの音声



4. ちまき論争ディベート：甘い派 vs しょっぱい派

授業手順書（詳細版）／対象：高校／30分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

身近なテーマで、理由と例をあげて英語で意見を述べ、相手チームに質問できる。

準備

- ちまきの写真2枚：北の甘いちまき（あずき、ナツメ）、南のしょっぱいちまき（卵の黄身、豚肉）
- 理由の観点カード：taste / health / tradition / price / season
- 意見の型カード：I think ____ zongzi is better because _____. For example, _____.
- 日本の地域差のメモ：関西を中心にちまきを食べる家があり、関東では柏餅がおなじみ（柏餅は日本生まれ）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	4	2枚の写真を見せ、中国では北の甘いちまき派と南のしょっぱいちまき派の論争が毎年おなじみだと紹介する。どちらを食べてみたいか手を挙げさせて、2チームに分ける。	写真を見て、食べてみたい方を選ぶ。	"In the north of China, many people like sweet zongzi." "In the south, salty zongzi is popular." "Which one do you want to try?" "Sweet team over here. Salty team over there."
展開1	8	観点カードを使って、チームで理由を英語で3つ考えさせる。例を1つずつ加えさせる。	チームで理由3つと例を英語で書く。	"Think of three reasons." "Use these words: taste, health, tradition." "Give an example for each reason." "Who will speak first?"
展開2	12	各チーム1分ずつ主張させ、そのあと相手チームに1つ質問させる。これを話す人を替えて2回行う。先生はよい理由やよい質問を板書する。	1分で主張し、相手チームに質問する。答える。	"Sweet team, you have one minute." "Salty team, ask them one question." "Good question! Can you answer it?" "Now change speakers."
まとめ	6	日本にも食べ物の地域差があることを紹介する。端午の節句に関西を中心にちまきを食べる家があり、関東では日本生まれの柏餅がおなじみであることを伝え、食文化の地域差について一言ずつ意見を言わせる。	日本の地域差を聞き、自分の地域の食べ物について一言言う。	"Japan has differences, too." "Many families in Kansai eat chimaki on May 5." "In Kanto, kashiwa-mochi is more popular." "What food is special in your area?"

板書例

Sweet zongzi (north) : red beans, dates

Salty zongzi (south) : egg yolk, pork

I think ____ zongzi is better because _____.

For example, _____.

Question : Why do you think _____?

日本：関西 → chimaki / 関東 → kashiwa-mochi (日本生まれ)

評価のポイント

- 理由と例をセットにして、英語で意見を述べられているか。
- 相手チームの主張を聞いて、内容にそった質問ができているか。

つまづきへの手だて

- 英語が出にくい生徒には、意見の型カードを読み上げる役から始めさせる。
- 質問が思いつかない生徒には、Why do you think so? / Is it healthy? などの質問カードを渡す。

発展

- ほかの食べ物論争（目玉焼きにしょうゆかソースか など）で、同じ形のミニディベートをする。
- 基本セット p.7 の作文 I like _____ zongzi better because _____ を書かせる。

使う教材

- 基本セット p.7（作文）
- このサイトの英語ページの音声



5. 文化はだれのもの？端午をめぐりリサーチ

授業手順書（詳細版）／対象：大学／60分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

無形文化遺産と文化の所有をめぐり問題について、4つの国・地域の端午の習慣を調べ、根拠をあげて英語で議論し、自分の意見をエッセイにまとめられる。

準備

- 発展セット（advanced の英文 Whose Festival Is It? と quiz ・ vocab ・ debate）を人数分
- 担当カード：中国（Dragon Boat Festival）、韓国（Gangneung Danoje Festival）、日本（Tango no Sekku）、ベトナム（Tết Đoan Ngô）
- 調べる観点の表（name / date / main customs / meaning）
- 150語のエッセイシート

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	5	2005年に韓国の江陵端午祭がユネスコに認められたとき、中国で反発が起きたことを紹介する。「同じ起源の行事はだれのものか」という問いを示す。	問いについて、直感で考えを言う。	"In 2005, UNESCO recognized a festival in South Korea." "Many people in China were shocked. Why?" "Today's question: whose festival is it?" "What do you think right now?"
展開1	10	advanced の英文を読ませ、quiz で確認する。2005年と2009年の出来事を年表に整理させ、ユネスコの一覧の目的（living traditions を守ること）を確認する。	英文を読み、quiz に答え、年表を作る。	"Read the passage and answer the quiz." "What happened in 2005? In 2009?" "What are UNESCO lists for?" "Do they give ownership to one country?"
展開2	20	4つのグループに分け、担当の国・地域の端午の習慣を英語の資料で調べさせる。観点の表を埋め、出典を必ずメモさせる。最後の5分で、ほかのグループに2分ずつ報告させる。	担当の国・地域を調べて表にまとめ、ほかのグループに報告する。	"Each group has one country." "Find the name, the date, the main customs, and the meaning." "Write down your sources." "Now share with the other groups in two minutes."
展開3	15	「同じ起源の行事は、始まった場所のものか、守り続ける人みんなのものか」について、グループで立場を決めて議論させる。本文の4つの例を根拠に使うよう求める。	グループで立場を決め、英語で議論する。	"Does a festival belong to its place of origin?" "Or to everyone who keeps it alive?" "Use the four examples as evidence." "Respond to the other group's point."
まとめ	10	自分の意見を英語150語程度のエッセイにまとめさせる。授業内で構成メモと最初の段落まで書かせ、残りは提出課題にする。	エッセイの構成を考え、書き始める。	"Write an essay of about 150 words." "State your opinion first." "Use one example from your research." "Finish it by next class."

板書例

Q : Whose festival is it?

2005 : UNESCO → Gangneung Danoje Festival (South Korea) → shock in China

2009 : China's Dragon Boat Festival → UNESCO list

Korea : shamanist rituals / mask dramas / folk games

China : boat races / zongzi

Japan : children / carp streamers / samurai helmets

Vietnam : Tết Đoan Ngô (bug-killing festival)

UNESCO lists : protect living traditions ≠ ownership

評価のポイント

- 本文と調べた資料から、各国の端午のちがいを正確に説明できているか。
- 議論で、具体的な例を根拠にして自分のグループの立場を述べられているか。
- エッセイで、反対の考えにもふれたうえで自分の結論を書けているか。

つまづきへの手だて

- 英文が難しい学生には、vocab の8語（recognize, ownership など）を先に確認させる。
- エッセイの型（Introduction / Reason and example / Other view / Conclusion）を配る。

発展

- 発展セットの debate の論題で、短いディベートを行う。
- 日本の和食や祭りがユネスコに登録された例を調べ、同じような議論があったかを報告させる。

使う教材

- 発展セット（quiz ・ vocab ・ paraphrase ・ summary ・ debate）
- このサイトの英語ページ（advanced の英文と和訳）
- 記事の国・地域別くらべの表